

平成22年度

北海道公立大学法人札幌医科大学の業務実績に関する評価結果

平成23年8月

北海道地方独立行政法人評価委員会

□ 評価にあたっての基本的な考え方

北海道地方独立行政法人評価委員会公立大学部会は、地方独立行政法人法第28条の規定により、北海道公立大学法人札幌医科大学の平成22年度の業務実績に関する評価を実施した。

なお、評価にあたっては、自主自律的な大学運営及び教育研究の特性に配慮しながら、中期目標の達成に向けた法人の当該事業年度における中期計画の実施状況を調査及び分析し、業務実績の全体について総合的に評価を行った。

評価委員会の業務実績に関する評価については、北海道地方独立行政法人評価委員会条例第6条第6項及び北海道地方独立行政法人評価委員会運営要綱第2条第2項の規定により、部会の議決をもって委員会の議決とした。

なお、当部会が具体的に評価を行うにあたっては、「北海道地方独立行政法人評価基本方針」及び「北海道公立大学法人札幌医科大学年度評価実施要領」に基づき、次の考え方により評価を行った。

○ 評価の方法

評価は、「項目別評価」と「全体評価」により実施した。

「項目別評価」は、法人が作成した業務実績報告書を踏まえ、ヒアリング等を通じて、年度計画の項目ごとに業務の実施状況の確認や法人からの自己点検・評価の妥当性を検証し、総合的に判断の上、評価を行った。

「全体評価」は、項目別評価の結果を踏まえた上で、法人の業務実績全体について、記述式により評価を行った。

○ 評価の基準

法人が行う4段階（S～C）の自己点検・評価の結果を踏まえ、年度計画の項目毎に5段階（V～I）で評価を行った。

【法人が行う自己点検・評価基準】

S：上回って実施している

A：十分に実施している（達成度が9割以上）

B：十分に実施していない（達成度が9割未満）

C：実施していない

【評価委員会が行う項目別評価基準】

V：特筆すべき進捗状況にある

IV：順調に進んでいる（すべてS～A）

III：おおむね順調に進んでいる（S～Aの割合がおおむね9割以上）

II：やや遅れている（S～Aの割合がおおむね9割未満）

I：重大な改善事項がある

□ 北海道地方独立行政法人評価委員会・公立大学部会委員名簿

氏名	役職等	摘要
宇根 良衛	独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター院長	
太田 明子	太田明子ビジネス工房代表	
谷山 弘行	酪農学園大学学長	
舟橋 健市	公認会計士	委員長・部会長
和田 健夫	国立大学法人小樽商科大学副学長	

※五十音順

目 次

1 全体評価	1 P
(1) 総括	
(2) 業務の実施状況	
2 項目別評価	
第1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置	2 P
1 教育に関する目標を達成するための措置	
2 研究に関する目標を達成するための措置	
3 社会貢献に関する目標を達成するための措置	
4 附属病院に関する目標を達成するための措置	
第2 業務運営の改善に関する目標を達成するための措置	5 P
1 運営に関する目標を達成するための措置	
2 組織及び業務等に関する目標を達成するための措置	
3 人事の改善に関する目標を達成するための措置	
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	6 P
1 財務に関する基本的な目標を達成するための措置	
2 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置	
3 資産の運用管理に関する目標を達成するための措置	
第4 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置	7 P
1 評価の充実に関する目標を達成するための措置	
2 情報公開等の推進に関する目標を達成するための措置	
第5 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	8 P
1 施設設備の整備、活用等に関する目標を達成するための措置	
2 安全管理その他の業務運営に関する目標を達成するための措置	
3 項目別評価（総括表）	9 P

1 全体評価

(1) 総括

北海道公立大学法人札幌医科大学（以下「法人」という。）は、法人として4年目を迎え、現中期目標期間が残り3年となることから、取組みが遅れている項目・課題を中心として、次のような取組みが行われた。

- ・ 教育の分野に関する取組みについては、教員の教育能力、教育水準及び質の向上を図ることを目的に、授業評価結果を授業に反映させるため、「札幌医科大学教育評価委員会」を設置した。
- ・ 研究の分野に関する取組みについては、重点的研究の一つである脳梗塞治療の研究を推進するため、CPC（細胞プロセッシング施設）の運営体制を整備するとともに、トランスレーショナルリサーチセンターを設置するなど、産学・地域連携に供する研究の促進を図った。
- ・ 社会貢献に関する取組については、北海道地域医療再生計画に基づき、3つの特設講座を設置し、道民の医療・保健・福祉に関する社会的要請の高い研究を推進していく体制を整備した。
- ・ 附属病院に関する取組みについては、経営指標を設定し、経営改善の進捗管理などの取組みを積極的に行った結果、収支の改善が図られた。
- ・ その他の取組みとしては、職員の能力を発揮させるための適切な評価制度を導入したほか、新たな収入確保の取組みとして、教員の知識・技術などを活用した各種グッズの作成・販売することを決定した。

(2) 業務の実施状況

法人が作成した平成22年度業務実績報告書の自己点検・評価を確認したところ、全168項目のうちA評価（達成度9割以上）以上となった項目は、154項目（91.7%）となっており、S及びAの割合がおおむね9割以上の項目別評価基準に該当する。

ただし、一部の取り組みにおいて年度計画を十分に実施できなかった項目もあることから、さらに取り組みを進めることが求められるところではあるが、総合的に勘案すると、おおむね順調に進んでいるものと認められる。

【指摘事項】

- ・ 中期目標及び中期計画に数値指標を掲げている項目については、これまでの傾向の把握と十分な分析を行い、目標達成に向け積極的に取り組む必要がある。
- ・ 年度計画においては、中期計画との整合性及び中期計画の進捗状況を踏まえたものとする必要がある。

2 項目別評価

第1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置

第1の分野は、年度計画の項目数の8割近くを占めており、最も重点を置いている分野である。

全134項目について、評価を行った結果、A評価120項目（89.6%）、B評価14項目（10.4%）となっており、A評価以上の項目が9割未満と、全体としては、やや遅れていることから、より一層の取組みが求められる。

1 教育に関する目標を達成するための措置

評価 II：やや遅れている

【主な取組みと評価】

○教育課程の充実

- ・ 教養教育カリキュラムの充実を図るため、両学部共通科目として、双方向コミュニケーション概論を実施するとともに、心理学（医学部）と心理学概論（保健医療学部）について、平成23年度から両学部共通科目として実施することを決定したことは評価できる。（No.1）

○教育内容・体制の充実

- ・ 教員の教育能力、教育水準及び質の向上を図ることを目的に、学長を委員長とする「札幌医科大学教育評価委員会」を設置し、授業評価結果の授業反映方法について検討したことは評価できる。（No.28）

【課題】

- ・ 保健医療学研究科における携帯端末を利用したeラーニングの利活用、大学院課程における優秀な外国人学生を受け入れるための広報活動の充実、看護学専攻における臨床高度化を目指すカリキュラムの編成については結論が出ておらず、取組みが遅れている。
- ・ 教員のFD活動の参加については、医学部・保健医療学部において年々参加率が減少している。

2 研究に関する目標を達成するための措置

評価 Ⅲ：おおむね順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○研究成果の還元

- ・ 重点的研究の一つである脳梗塞治療の研究を支援するため、「細胞プロセッシング施設管理運営細則」を制定するなど、CPC（細胞プロセッシング施設）を運営するための体制を整備するとともに、今後の事業運営を担う「トランスレーショナルリサーチセンター」を設置したことは評価できる。（No.61）

○研究体制の整備・充実

- ・ 学内共同利用施設の整備について検討した結果、平成23年4月から新たな研究組織として「フロンティア医学研究所」を、研究支援組織として「教育研究機器センター」の設置を決定したことは評価できる。（No.66）

3 社会貢献に関する目標を達成するための措置

評価 Ⅱ：やや遅れている

【主な取組みと評価】

○地域医療支援の充実

- ・ 北海道地域医療再生計画に基づき、特設講座として「オホーツク医療環境研究講座」、「道民医療推進学講座」、「南檜山周産期環境研究講座」を設置し、道民の医療・保健・福祉に関する社会的要請の高い研究を推進していくこととしたことは評価できる。（No.79）

○国際交流の促進

- ・ 保健医療学部の研究交流促進を図るため、「香港理工大学」と学部間交流の覚書を取り交わしたことは評価できる。（No.89）

【課題】

- ・ 地域の公的医療機関等に対する人的・技術的支援や連携方策の充実について、引き続き検討を行うこととしており、取組みが遅れている。
- ・ 諸外国での医療活動に積極的に取り組むため、教職員の派遣を計画したが、派遣することができなかった。

4 附属病院に関する目標を達成するための措置

評価	Ⅱ：やや遅れている
----	-----------

【主な取組みと評価】

○治験体制の充実

- ・ 医師主導治験に向けたサポート体制の強化のため、治験センターに治験コーディネーター（CRC）や治験モニタリング・データマネジメント補助職員等を配置したことは評価できる。（No.105）

○研修プログラムの充実

- ・ 臨床教育の充実を図るため、附属病院の研修プログラムに参加する協力型病院を新たに3病院追加し、道内各地域での臨床研修病院の選択肢を増やし、実践的なプライマリ・ケアを学べる機会を増やしたことは評価できる。（No.111）

○後期研修の充実

- ・ 初期臨床研修後の専門研修の場として、道内3医育大学の診療科の高度専門領域研修を他大学の専門研修医へ提供することを可能とし、大学の枠を越えた相互補完の体制を整備したことは評価できる。（No.111）

○経営改善の推進

- ・ 経営指標を設定し、経営改善の進捗管理など目標達成に向けて積極的な取組みを行った結果、収支の改善が図れたことは評価できる。（No.119）

【課題】

- ・ 外国人患者に対するサービス向上に向けた方策の検討を計画したが、改善が図られなかった。
- ・ 新たな病院機能のあり方については、結果が出ておらず、引き続き検討を行うこととしている。

第2 業務運営の改善に関する目標を達成するための措置

第2の分野は、全12項目について評価を行った結果、全ての項目がA評価となっており、全体としては、計画どおりに取組みが実施されたものと評価できる。

1 運営に関する目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○コンプライアンス・プログラムの整備

- ・ 公的研究費の適正な管理・執行を図るため、平成23年3月に「北海道公立大学法人札幌医科大学における競争的資金等の使用に関する不正防止プログラム」を策定したことは評価できる。(No.138)

2 組織及び業務等に関する目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○事務等の改善

- ・ 組織機構改正を通じて、事務事業の点検を実施し、4名相当分の業務の外部委託化を推進したことは評価できる。(No.142)

3 人事の改善に関する目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○プロパー職員の採用

- ・ 選考採用試験を実施し、新卒4名、既卒4名、専門職種経験者2名（診療報酬・医療材料調達）のプロパー職員を採用したことは評価できる。(No.144)

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

第3の分野は、全10項目について評価を行った結果、S評価1項目（10%）、A評価9項目（90%）となっており、全体としては、計画どおりに取組みが実施されたものと評価できる。

1 財務に関する基本的な目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○大学の運営と経営分析

- ・ 運営費交付金依存率について、計画的な縮減に取り組んだことは評価できる。（No.148）

2 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○新たな収入確保の取組み

- ・ 各種グッズ、刊行物等の作成、販売について、「札幌医科大学広報委員会一般広報部会」で検討を進めた結果、グッズに入れるシンボルマークやロゴマークの使用許可や著作物利用料等に関する「取扱要綱」等を定めたことは評価できる。（No.153）

3 資産の運用管理に関する目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○資産の有効活用

- ・ 資産の適切なリスク管理を行うとともに、長期保全計画に基づき設備改修を行ったことは、効率的な資産の運用を図る観点から評価できる。（No.156）

第4 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置

第4の分野は、全7項目について評価を行った結果、全ての項目がA評価となっており、全体としては、計画どおりに取組みが実施されたものと評価できる。

1 評価の充実に関する目標を達成するための措置

評価 | IV : 順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○自己点検・自己評価の実施

- ・平成20・21年度に実施した自己点検・評価に基づき、(財)大学基準協会による認証評価を受審した結果、平成23年3月30日に(財)大学基準協会の大学基準に適合していると認定されたことは評価できる。(No.157)

2 情報公開等の推進に関する目標を達成するための措置

評価 | IV : 順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○効果的な広報活動の充実

- ・効果的な広報戦略の展開を図るため、札幌医科大学広報委員会に、新たに「一般」、「学生」及び「病院」の各専門部会を設置し、広報体制の充実を図ったことは評価できる。(No.161)

第5 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置

第5の分野は、全5項目について評価を行った結果、全ての項目がA評価となっており、全体としては、計画どおりに取組みが実施されたものと評価できる。

1 施設設備の整備、活用等に関する目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○ESCO事業による省エネ効果

- ・ESCO事業については、事業開始から2年目となり、コージェネレーションが本格的に稼働し、省エネ率の検証を行った結果、当初予定の省エネ率11%を5%上回る「16%」の削減効果があったことは評価できる。(No.164)

2 安全管理その他の業務運営に関する目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○労働安全衛生体制の整備

- ・労働安全衛生に関する規程整備のため、「札幌医科大学職員健康診断実施要綱」を作成したことは評価できる。(No.165)

3 項目別評価（総括表）

評価項目（年度計画）	法人自己評価								評価委員会評価								
	計画達成の状況								評価	評価における特記事項							
	S	4	A	163	B	1	C	0	Ⅲ	S	1	A	153	B	14	C	0
1 第1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 1 教育に関する目標を達成するための措置 (1) 教育の成果に関する目標を達成するための措置	S	1	A	132	B	1	C	0	Ⅱ	S	0	A	120	B	14	C	0
	S	0	A	57	B	0	C	0	Ⅱ	S	0	A	51	B	6	C	0
	S	0	A	6	B	0	C	0	Ⅳ	S	0	A	6	B	0	C	0
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 ・ 両学部共通科目として、双方向コミュニケーション概論を実施するとともに、心理学（医学部）と心理学概論（保健医療学部）について、平成23年度から両学部共通科目として実施することを決定した。 (No.1) A									<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる。							
2 (2) 教育内容等に関する目標を達成するための措置	S	0	A	26	B	0	C	0	Ⅱ	S	0	A	23	B	3	C	0
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 ・ 物理学（医学部）と生命の物理学（保健医療学部）について、平成23年度から単位互換制度を導入することを決定した。 (No.13) A ・ 教員の教育能力、教育水準及び質の向上を図ることを目的に、学長を委員長とする「札幌医科大学教育評価委員会」を設置し、授業評価結果の授業反映方法について検討を行った結果、両学部とも授業評価結果をホームページ上で公表し、結果の周知に努めた。 (No.28（再掲No.49））A									<input type="checkbox"/> やや遅れている。 [自己評価において「A」と評価した26項目のうち、3項目については、計画を十分実施していないことから「B」と評価した。] ◇B項目の内訳 ・ eラーニングの利活用の推進に向けた検討 (No.9（再掲No.37）) ・ 英語版ホームページの充実に向けた検討、外国人向け広報活動の体制充実に向けた学内各委員会との連携 (No.10（再掲No.94）) ・ 臨床高度化を目指したカリキュラムの検討 (No.25)							
3 (3) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置	S	0	A	20	B	0	C	0	Ⅱ	S	0	A	17	B	3	C	0
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 ・ 教育開発研究部門の機能強化のため、保健医療学分野担当教員を1名増員することを決定した。 (No.34) A									<input type="checkbox"/> やや遅れている。 [自己評価において「A」と評価した20項目のうち、3項目については、計画を十分実施していないことから「B」と評価した] ◇B項目の内訳 ・ eラーニングの利活用の推進に向けた検討 (No.37（再掲No.9）) ・ 学内ネットワークシステムの活用に向けた検討 (No.41) ・ FD活動の実施 (No.46)							
4 (4) 学生への支援等に関する目標を達成するための措置	S	0	A	5	B	0	C	0	Ⅳ	S	0	A	5	B	0	C	0
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 ・ トレーニング機器の整備や体育館シャワー室の改修など、福利厚生施設や学内生活環境の整備を図った。 (No.55) A									<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる。							

評価項目(年度計画)	法人自己評価							評価委員会評価									
	計画達成の状況							評価	評価における特記事項								
5 2 研究に関する目標を達成するための措置 (1) 研究水準及び研究の成果に関する目標を達成するための措置	S	0	A	12	B	1	C	0	III	S	0	A	12	B	1	C	0
	S	0	A	6	B	0	C	0	IV	S	0	A	6	B	0	C	0
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 ・ 北海道臨床開発機構の支援を受け、重点的研究の一つである脳梗塞治療の研究を支援するため、「細胞プロセッシング施設管理運営細則」を制定するなど、CPC（細胞プロセッシング施設）を運営するための体制を整備した。 また、「治験センター設置要綱」などを制定し、医師主導治験を行うための体制を整備したほか、今後の事業運営を担う「トランスレーショナルリサーチセンター」を設置した。 (No. 61) A								<input type="radio"/> 順調に進んでいる。								
6 (2) 研究実施体制等に関する目標を達成するための措置	S	0	A	6	B	1	C	0	II	S	0	A	6	B	1	C	0
	S	0	A	6	B	1	C	0		<input type="radio"/> やや遅れている。 <input type="checkbox"/> B項目の内訳 ・ 評価結果を踏まえ研究者ごとに改善策を盛り込んだ計画の作成のあり方検討 (NO. 69)							
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施していない。 ・ 学内共同利用施設の整備について、「研究所・機器センター再編検討WG」において検討を行い、平成23年4月から新たな研究組織として「フロンティア医学研究所」を、研究支援組織として「教育研究機器センター」を設置することとした。 (No. 66) A																
7 3 社会貢献に関する目標を達成するための措置 (1) 地域医療等への貢献に関する目標を達成するための措置	S	1	A	26	B	0	C	0	II	S	0	A	24	B	3	C	0
	S	1	A	15	B	0	C	0		III	S	0	A	15	B	1	C
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 ・ 地域医療機関へ次のとおり診療支援を行った。 ※派遣要請…2, 143件 派遣実績…2, 047件 (応諾率95.5%) ※公的医療機関への派遣割合…59.4% (No. 75 (再掲No. 115)) ・ 北海道地域医療再生計画に基づき、次のとおり特設講座を設置し、道民の医療・保健・福祉に関する社会的要請の高い研究を推進していく体制を整備した。 <input type="radio"/> 「オホーツク医療環境研究講座」 <input type="radio"/> 「道民医療推進学講座」 <input type="radio"/> 「南檜山周産期環境研究講座」 (No. 79) A								<input type="radio"/> 概ね順調に進んでいる。 <input type="checkbox"/> 自己評価において「S」と評価した1項目については、計画を上回って実施している事項の具体性に欠けるなどの理由により「A」と評価した。 また、自己評価において「A」と評価した1項目については、計画を十分実施していないことから「B」と評価した <input type="checkbox"/> B項目の内訳 ・ 派遣医師の処遇や地域での医療支援に対する評価についての検討 (No. 76 (再掲No. 116))								
8 (2) 産学官連携に関する目標を達成するための措置	S	0	A	2	B	0	C	0	IV	S	0	A	2	B	0	C	0
	S	0	A	2	B	0	C	0		<input type="radio"/> 順調に進んでいる。							
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 ・ 「株式会社リクルート」と包括的な技術移転契約を締結し、同社を通じた積極的な技術移転活動を展開した。 また、「株式会社MPO」とも、同様の技術移転契約を締結した。 ※新規ライセンス契約：4件 (No. 87) A																

評価項目(年度計画)	法人自己評価							評価委員会評価									
	計画達成の状況							評価	評価における特記事項								
9 (3) 国際交流・貢献に関する目標を達成するための措置	S	0	A	9	B	0	C	0	II	S	0	A	7	B	2	C	0
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 「韓国カトリック大学」と臨床実習に関する派遣協議を行った。 また、保健医療学部の研究交流促進を図るため、「香港理工大学」と学部間交流の覚書を平成23年2月に取り交わした。 (No. 89) A 								<input type="radio"/> やや遅れている。 (自己評価において「A」と評価した9項目のうち、2項目については、計画を十分実施していないことから「B」と評価した。) ◇B項目の内訳 ・諸外国での医療活動の支援 (No. 90) ・英語版ホームページの充実に向けた検討、外国人向け広報活動の体制充実に向けた学内各委員会との連携 (No. 94 (再掲No. 10))								
10 4 附属病院に関する目標を達成するための措置 (1) 診療に関する目標を達成するための措置	S	0	A	37	B	0	C	0	II	S	0	A	33	B	4	C	0
	S	0	A	7	B	0	C	0	II	S	0	A	5	B	2	C	0
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 「肝疾患診療連携拠点病院」の指定を受けたことに伴い、肝疾患に関する相談窓口を開設した。 (No. 99) A 								<input type="radio"/> やや遅れている。 (自己評価において「A」と評価した7項目のうち、2項目については、計画を十分実施していないことから「B」と評価した。) ◇B項目の内訳 ・外国人患者へのサービス向上方策の検討 (No. 101) ・高度救急救命センターの充実等 (No. 104)								
11 (2) 臨床研究に関する目標を達成するための措置	S	0	A	2	B	0	C	0	IV	S	0	A	2	B	0	C	0
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 医師主導治験に向けたサポート体制の強化のため、治験センターに新たな専門職を配置した。 ○治験コーディネーター(CRC) 1名。 ○治験モニタリング及びデータマネジメントを行う教員等を補佐する者若干名。 ○事務部門にシニアスタッフ1名。 (No. 105・106) A 								<input type="radio"/> 順調に進んでいる。								
12 (3) 臨床教育に関する目標を達成するための措置	S	0	A	5	B	0	C	0	IV	S	0	A	5	B	0	C	0
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 指導医の資質向上のため、「指導医養成講習会」を実施した。 また、協力型病院を新たに3病院(北海道済生会小樽病院、市立根室病院、市立小樽病院)追加し、臨床研修病院の選択肢と実践的なプライマリ・ケアの機会を増やすなど内容の充実を図ったほか、初期臨床研修後の専門研修の場として、道内3医学大学の診療科の高度専門領域研修を他大学の専門研修医へ提供することを可能とし、大学の枠を超えた相互補完体制を整備した。 (No. 111) A 								<input type="radio"/> 順調に進んでいる。								

評価項目(年度計画)	法人自己評価							評価委員会評価									
	計画達成の状況							評価	評価における特記事項								
13 (4) 地域医療への貢献に関する目標を達成するための措置	S	0	A	7	B	0	C	0	II	S	0	A	6	B	1	C	0
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 初期臨床研修後の専門研修の場として、道内3医育大学の診療科の高度専門領域を他大学の専門研修医へ提供することを可能とし、大学を越えた相互補完の体制を整備するなど、若手医師キャリア形成支援センターの充実を図った。 ※新規受入 46名→78名 (No. 113 (再掲No. 71)) A 							<input type="radio"/> やや遅れている。 (自己評価において「A」と評価した7項目のうち、1項目については、計画を十分実施していないことから「B」と評価した。) ◇B項目の内訳 ・派遣医師の処遇や地域での医療支援に対する評価についての検討 (No. 116 (再掲No. 76))									
14 (5) 運営の改善・効率化に関する目標を達成するための措置	S	0	A	16	B	0	C	0	II	S	0	A	15	B	1	C	0
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 経営指標(KPI)を設定し、病院運営会議、業務連絡会議、役員会及び役員懇談会等の定例会において、経営改善の進捗状況を報告し、病院長のリーダーシップの下、目標達成に向けた取組を推進した。 また、特段の対策が必要な局面においては、病院長より診療科長等あてに個別に経営改善に係る指導を行い収支改善に寄与した。 (No. 119) A 病院機能評価の継続認定について、改善要望事項(抗がん剤の調製・混合)に関し、6月に確認審査を受審した結果、認定証の交付を受けた。 ※継続認定期間 平成21年9月27日～ 平成26年9月26日(5年間) (No. 134) A 							<input type="radio"/> 概ね順調に進んでいる。 (自己評価において「A」と評価した16項目のうち、1項目については、計画を十分実施していないことから「B」と評価した。) ◇B項目の内訳 ・病院機能・施設の充実や新たな病院機能についての検討 (No. 133)									
15 第2 業務運営の改善に関する目標を達成するための措置 1 運営に関する目標を達成するための措置	S	0	A	12	B	0	C	0	IV	S	0	A	12	B	0	C	0
	S	0	A	4	B	0	C	0		<input type="radio"/> 順調に進んでいる。							
<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 公的研究費の適正な管理・執行を図るため、平成23年3月に「北海道公立大学法人札幌医科大学における競争的資金等の使用に関する不正防止プログラム」を策定した。 (No. 138) A 																	
16 2 組織及び業務等に関する目標を達成するための措置	S	0	A	5	B	0	C	0	IV	S	0	A	5	B	0	C	0
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 「医療人育成センターあり方検討WG会議」において、医療人育成センターの将来における教授職の配置数及び配分を決定(入学者選抜企画研究部門1、教養教育研究部門8、教育開発研究部門2)したほか、教育開発研究部門の機能強化を図るため、保健医療学分野の教員1名の配置を決定した。 (No. 139) A 組織機構改正を通じて、事務事業の点検を実施し、4名相当分の業務の外部委託化を推進した。 (No. 142) A 							<input type="radio"/> 順調に進んでいる。									

評価項目(年度計画)	法人自己評価							評価委員会評価									
	計画達成の状況							評価	評価における特記事項								
17 3 人事の改善に関する目標を達成するための措置	S	0	A	3	B	0	C	0	IV	S	0	A	3	B	0	C	0
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 選考採用試験を実施し、新卒4名、既卒4名、専門職種経験者2名(診療報酬・医療材料調達)の多様な年齢層(20歳代5名、30歳代5名)のプロパー職員を採用した。(No.144) A 職員の勤務実績を踏まえた評価制度として「勤勉手当に係る勤務実績評価制度」を導入し、平成22年12月期の勤勉手当から実施した。(No.145、146) A 							<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる。									
18 第3 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置 1 財務に関する基本的な目標を達成するための措置	S	3	A	7	B	0	C	0	IV	S	1	A	9	B	0	C	0
	S	1	A	1	B	0	C	0		<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 運営費交付金依存率については、計画的な縮減に取り組んだ。 <運営費交付金依存率> <ul style="list-style-type: none"> 平成19年度決算：23.9% 平成20年度決算：24.4% 平成21年度決算：22.2% 平成22年度決算：19.5% (No.148) A 							
19 2 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置	S	2	A	5	B	0	C	0	IV	S	1	A	6	B	0	C	0
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 各種グッズ、刊行物等の作成、販売について、「札幌医科大学広報委員会一般広報部会」で検討を進め、グッズに入れるシンボルマークやロゴマークの使用許可や著作物利用料等に関する「取扱要綱」等を定めた。(No.153) S 							<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる。 (自己評価において「S」と評価した2項目のうち、1項目については、計画を上回って実施している事項の具体性に欠けるなどの理由により「A」と評価した。)									
20 3 資産の運用管理に関する目標を達成するための措置	S	0	A	1	B	0	C	0	IV	S	0	A	1	B	0	C	0
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 資産の適切なりスク管理を行うとともに、長期保全計画に基づき、設備改修を行った。(No.156) A 							<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる。									
21 第4 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置 1 評価の充実に関する目標を達成するための措置	S	0	A	7	B	0	C	0	IV	S	0	A	7	B	0	C	0
	S	0	A	3	B	0	C	0		<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 平成20・21年度に実施した自己点検・評価に基づき、(財)大学基準協会による認証評価を受審した結果、平成23年3月30日に(財)大学基準協会の大学基準に適合していると認定された。(No.157) A 							

評価項目(年度計画)	法人自己評価								評価委員会評価								
	計画達成の状況								評価	評価における特記事項							
22 2 情報公開等の推進に関する目標を達成するための措置	S	0	A	4	B	0	C	0	IV	S	0	A	4	B	0	C	0
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 ・ 「北海道公立大学法人札幌医科大学広報委員会規程」を改正し、委員会の下部組織として、新たに「一般」、「学生」及び「病院」の各専門部会を設置し、広報体制の充実を図った。 また、「札幌医科大学における広報ガイドライン」を作成した。 (No.161) A									<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる。							
23 第5 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置 1 施設設備の整備、活用等に関する目標を達成するための措置	S	0	A	5	B	0	C	0	IV	S	0	A	5	B	0	C	0
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 ・ ESCO事業については、事業開始から2年目となり、コージェネレーションが本格的に稼働し、省エネ率の検証を行った結果、当初予定の省エネ率11%を5%上回る「16%」の削減効果があった。 (No.164) A									<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる。							
24 2 安全管理その他の業務運営に関する目標を達成するための措置	S	0	A	4	B	0	C	0	IV	S	0	A	4	B	0	C	0
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 ・ 労働安全衛生に関する規程整備のため、「札幌医科大学職員健康診断実施要綱」を3月に決定した。 (No.165) A									<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる。							